

A-4 : URA組織・人材・役割

開催日時・会場 9月20日（木曜日）13:50-15:20 404(4階)

URA組織における人材育成 Middle/Advance

民間企業では、人材育成は経営戦略の要の一つであり、組織全体で取り組むべき重要課題ととらえられている。また、それにより、そこに勤める従業員の力が深化し組織への貢献、さらには自身のキャリアアップが可能となる。人材育成の重要性は、大学や研究機関のURA組織においても基本的には同様であろう。しかし、一言でURA組織と言ってもその業務、構成、雇用形態、さらには、組織のマネジメントのスタイルは機関により大きく異なる。すなわち、それぞれの機関で特徴を持った人材育成がなされていると考えられる。

一方、一つの機関の人材育成を見ても、立場、すなわち育成する側、育成される側によりその見え方は全く異なるだろう。本セッションでは、異なるURA組織の異なる立場のURAを招いて、各組織での人材育成について紹介いただき、組織間の共通点や異なる点について議論したい。加えて、民間企業の人材育成に関する有識者の意見を踏まえて、本セッションの会場も含めた参加者全員で今後の人材育成のあり方について考えたい。

なお、本セッションでの議論の概要について、大会終了後に講演録として公開する予定です。

オーガナイザー

高野 誠：
大阪大学 経営企画オフィス シニア・リサーチ・マネージャー



1986年日本電信電話株式会社(NTT)入社。同社研究所、研究企画部門等で電気通信システム及びその管理システムの研究・開発や組織マネジメントに従事。研究企画部門では研究成果の事業化企画を統括。2015年大阪大学特任教授／シニア・リサーチ・マネージャ。プレアワードを中心としたリサーチ・マネジメント業務全般に従事。博士(工学)

佐藤 祐一郎：
大阪大学 経営企画オフィス リサーチ・アドミニストレーター



2003年より、山梨大学の事務担当として、工学、医学・病院、本部にて、庶務、外部資金獲得支援、企業を含む異分野連携チームのプロジェクト運営支援、病院業務に係る申請等の業務に従事。2013年より、京都大学にて、リサーチ・アドミニストレーターとして外部資金獲得支援、異分野連携チームのプロジェクト運営支援を中心に従事。2018年2月に、大阪大学経営企画オフィスURA部門着任。

講演者



山口 光男: 福井大学 総合戦略部門研究推進課 課長

福井県立大学大学院経済・経営学研究科博士前期課程修了。1982年から福井大学文部事務官として主に人事系を担当。2003年から研究推進課で主に産学官連携体制やURAシステムの構築、研究推進関係制度設計に従事。2013年から研究推進課長・URAオフィス副所長。現在、同オフィスは産学官連携本部に統合され、同本部研究企画・管理部がその機能を引き継いでいる。同部副部長を兼任中。修士(経営学)。



藤村 悠一:

山口大学 大学研究推進機構研究推進戦略部 URA室URA部門・IR室 URA

九州大学法学部卒。平成16年に山口大学事務職員として採用。異動により庶務系、研究協力系、会計系の各部署を経験したのち学内公募を経て平成25年7月からURAと事務職員の間職としてURA支援事務部門に配属。平成30年4月より現職。平成27年6月からは学長直属のIR室員を兼務。主な業務として共同研究等に係る契約交渉や事務経験を活かした各種制度設計など。



館 正一: 関西大学 学長室 リサーチ・コーディネーター
(イベント・コーディネーター/サイエンス・コミュニケーター)

1973年生まれ。学生時代にデザイン会社を起業。その後、大手広告代理店にて広報・広告の企画に従事。2016年より関西大学学長室リサーチ・コーディネーター(イベント・コーディネーター/サイエンス・コミュニケーター)着任。文科省私立大学ブランディング事業においてブランディングの戦略立案、ディレクションに携わる。研究広報という視点で大学広報、研究戦略の業務全般に従事。

藤原 明: リそな総合研究所 リーナルビジネス部 部長



リそな銀行営業サポート統括部(大阪)地域オフィサー・コーポレートビジネス部(大阪)アドバイザー。リそなホールディングスグループ戦略部アドバイザー・オムニチャンネル戦略部アドバイザー。立命館大学大学院経営管理研究科客員教授。米国国務省IVLP(インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム)招聘。雑誌AERA「日本を突破する100人」に選出。※REENAL=RESONA+REGIONAL